

手すりLR型 施工要領説明書

このたびは弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
 本品を正しく安全に施工、お使いいただくため、初めにこの説明書をよくお読みの上、正しく取り付けを行い、ご使用ください。

安全上のご注意 安全のため、必ずお読みの上お守りください。

ご使用の前に本書の『安全上のご注意』と『取付説明』をよくお読みの上、正しくお使いください。
 お読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。
 本施工要領説明書及び取扱説明書は、必ず工事終了後に施主様にお渡しください。




必ずお守りください。（安全のため、必ずお読みの上お守りください。）






下の表示は、製品を正しく安全にお使い頂き、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐ目印として、マークによる注意事項を示したものです。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

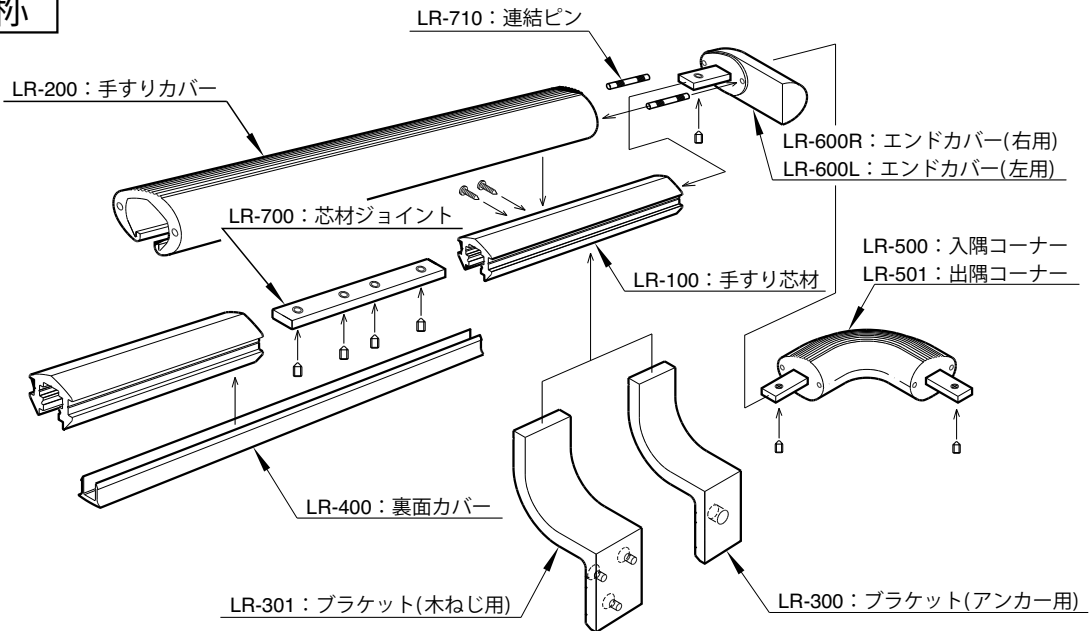
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危険や損害の内容がどのような種類か区別するため、上記の表示と合わせて以下のような記号を使っています。

絵記号の意味	
	本記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容が示されています。
	本記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容が示されています。
	本記号は、必ず従って頂く内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容が示されています。

-  ・本製品は手すりです。腰掛けたり、製品の上に乗ったり、ぶら下がったり、物を掛けたりしないでください。
製品が脱落したり、落ちてけがをする恐れがあり、大変危険です。
-  ・本製品の取付工事は、お買い上げの販売店または大工さん等の専門業者にご依頼ください。
取付方法をあやまると、ご使用中に製品が脱落してけがをする恐れがあり、大変危険です。
-  ・本製品の取付には、壁面の下地を十分に確認した上で適切なアンカーボルト、ねじを使用し確実に固定してください。
取付箇所が強度不足の場合、製品が脱落してけがをする恐れがあります。
-  ・ブラケットの最大間隔は、必ず1000mm以内としてください。
これより広い間隔で取り付けると、手すり坑が曲がったりねじが緩む恐れがあり大変危険です。
-  ・本製品の手すり部分は合成ゴムを使用しています。通常使用においては問題ありませんが、白地の布や紙などを強く押し付けてこすると、合成ゴム中のカーボンが白い面に移行し若干黒くなることがあります。ご注意ください。

各部の名称



手すり LR 型の取り付けは以下の手順で行ってください。

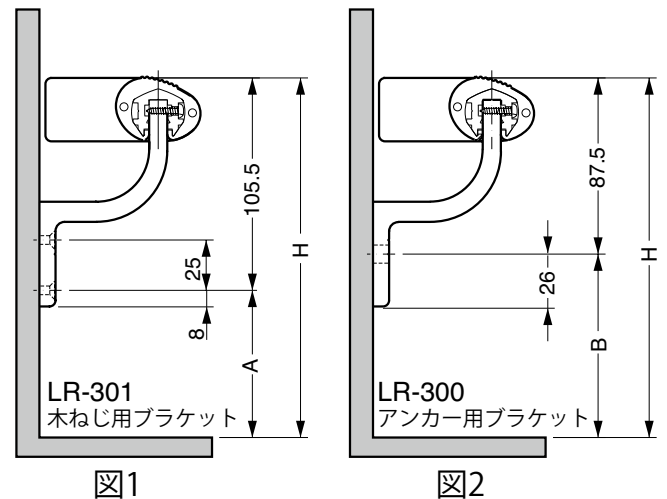
1. ブラケットの取付位置 墨出し

1-1 ブラケットの取付高さ

床仕上げ面より手すり上端までの高さ寸法を H とすると、

- LR-301/ 木ねじ用ブラケットを使用した場合 [図 1]
下側木ねじ芯までの寸法 $A = H - 105.5\text{mm}$
- LR-300/ アンカー用ブラケットを使用した場合 [図 2]
アンカー芯までの寸法 $B = H - 87.5\text{mm}$

※ 手すり上端の寸法(手すり高さ)は、利用される人の年齢、身長によって決定してください。

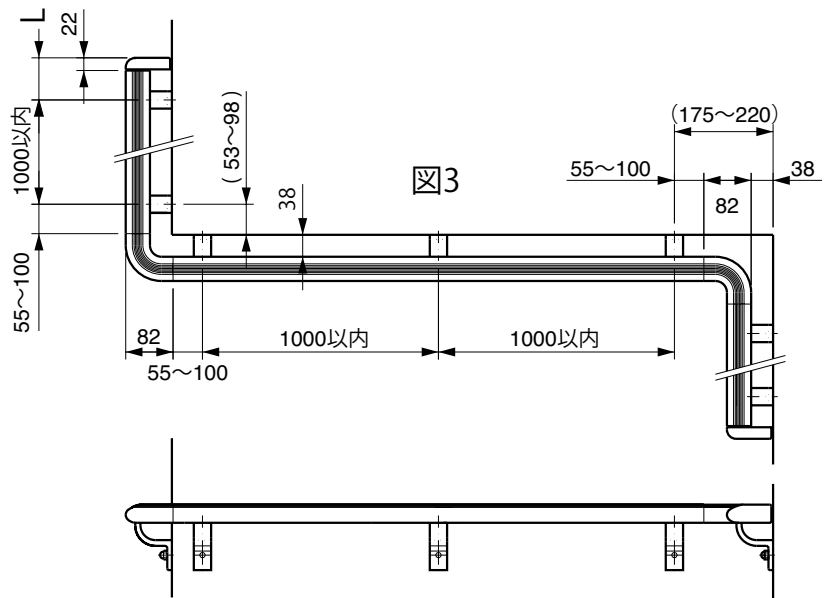


1-2 ブラケットの取付ピッチ (間隔)

ブラケットの取付ピッチ (間隔) は、1000mm 以内としてください。

コーナー部分 (出隅、入隅) のブラケットは、コーナー端部よりブラケット芯まで 55 ~ 100mm の範囲で取り付けてください。

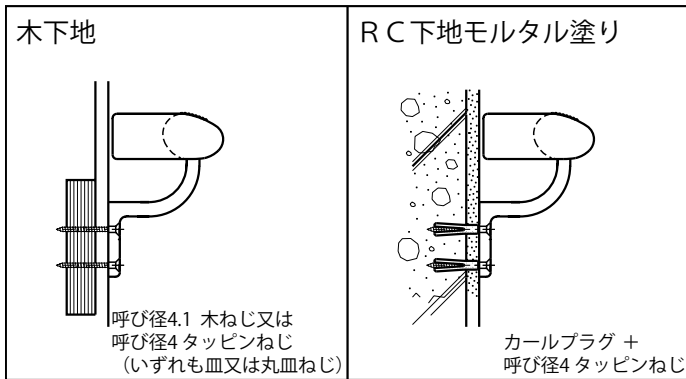
エンド部分において、エンドカバー外側よりブラケット芯までの寸法 L は、55mm 以上でブラケット取付ピッチの 1/5 以下となるように取り付けてください [図 3]



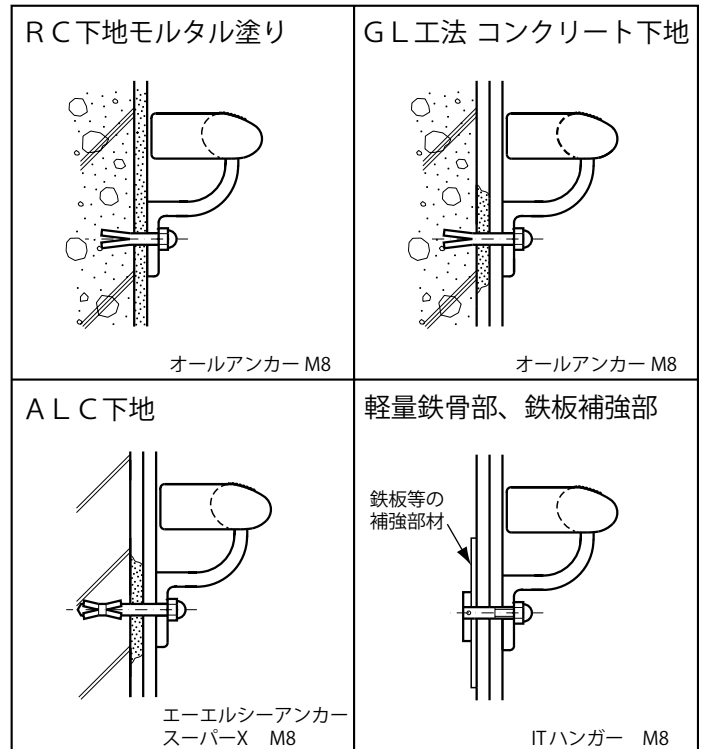
2. ブラケットの取付 注：アンカー・ねじ類は添付部品ではありません。お客様でご用意ください。

2-1 手すり下地別取付例

LR-301 ブラケット



LR-300 ブラケット



アンカー及びねじの長さは、固定する壁・下地の構造にあわせて確実に固定できる長さのものを選択してください。

2-2 ブラケットの取付

壁面の構造に適したアンカー・ねじを選定し、前項 1 で決めた壁面取付位置に、ブラケットを仮止めしてください。

3. 手すり芯材の取付

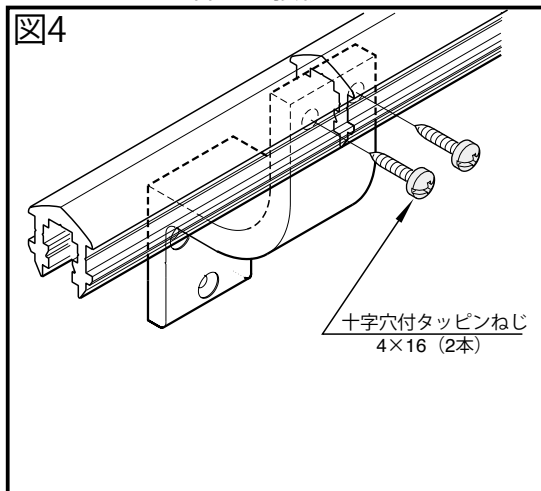
3-1 手すり芯材の接続方法

手すり芯材の接続方法は、図 4、図 5 に示すように 2 通りあります。図 4 ブラケット部での接続が基本ですが、ブラケット部で接続ができない場合は、芯材ジョイントを使用してください。

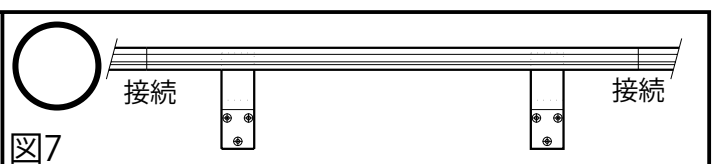
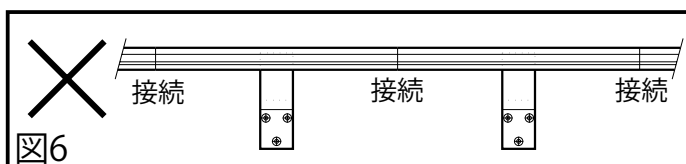
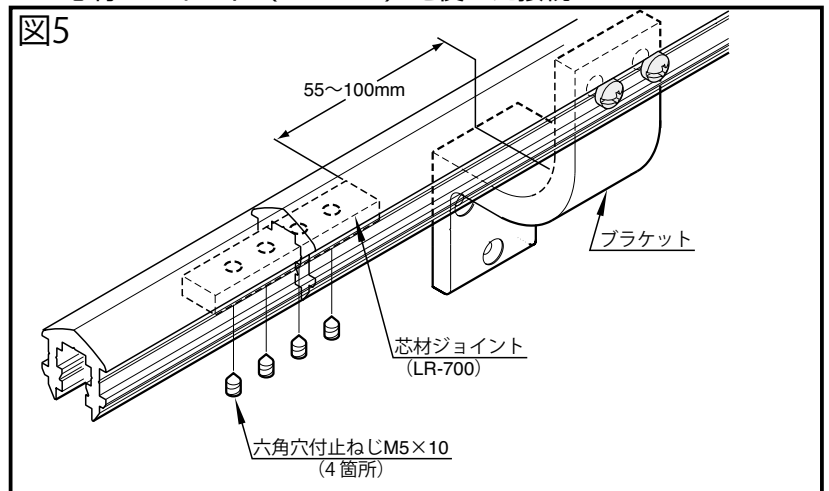
注 1：芯材ジョイントを使う場合、手すり芯材の連結部はブラケット中心部より 55mm ~ 100mm の位置としてください。【図 5】

注 2：一本の手すり芯材に、必ずブラケットが 2 個以上取り付けられるように配置・接続してください。【図 6、図 7】

1. ブラケット部での接続



2. 芯材ジョイント (LR-700) を使った接続



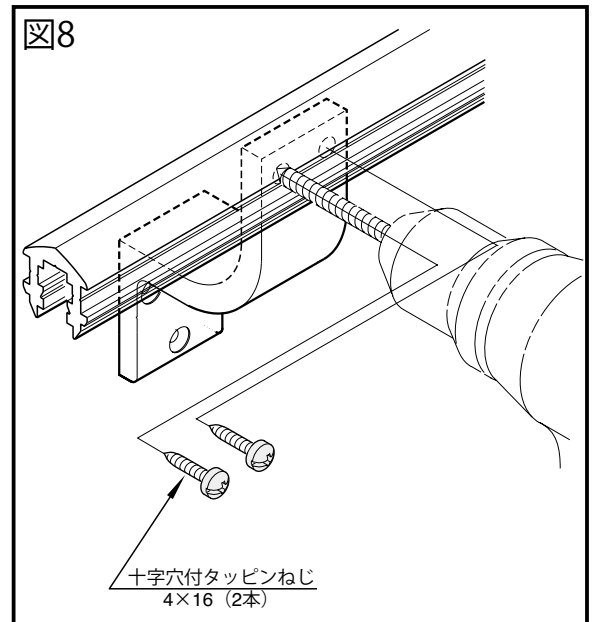
3-2 手すり芯材の取付方法

手すり芯材 LR-100 をブラケットに載せます。コーナー部がある場合、先に出隅・入隅コーナー (LR-500/LR-501) を、端部が入隅となり、後からエンドカバー (LR-600R/LR-600L) を差し込めない場合は (芯材端部と壁の隙間 53mm 以下の場合) エンドカバーを、先に手すり芯材に差し込み、六角穴付止めねじ M5×10 で締め込んで、固定しておきます。

手すり芯材のレベル・通り及びブラケット上端にきちんと手すり芯材が接地しているか確認した後、手すり芯材手前側よりブラケットを貫通するように $\phi 3.6$ ドリルで下穴をあけ、さらに手すり芯材を $\phi 4.2$ ドリルで追加工後、十字穴付タッピンねじ 4×16 で手すり芯材とブラケットを固定します。

固定した後、再度手すり芯材のレベル・通りを確認し、ブラケットを本締めしてください。

本締め後、手すりにガタつきがないか、ねじ類のゆるみがないか、必ず確認してください。



4. 手すりカバーの取付

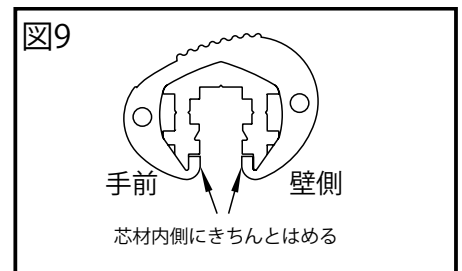
4-1 手すりカバーの切断寸法

手すりカバーを現場寸法に合わせて切断する場合は、実測値よりも 1 ~ 1.5% 長めに切断してください。端に取り付ける手すりカバーの場合、次項に記述する 1 ~ 1.5mm の出っ張りも長さ寸法に入れて計算してください。また手すりカバーの切断は、端部が波をうたないようによく切れる刃物で一気に押し切りしてください。

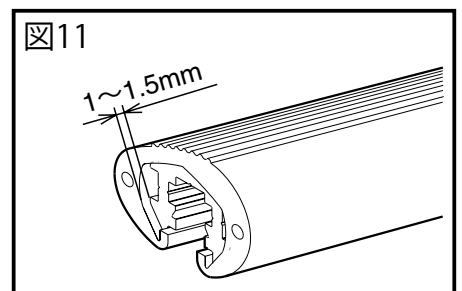
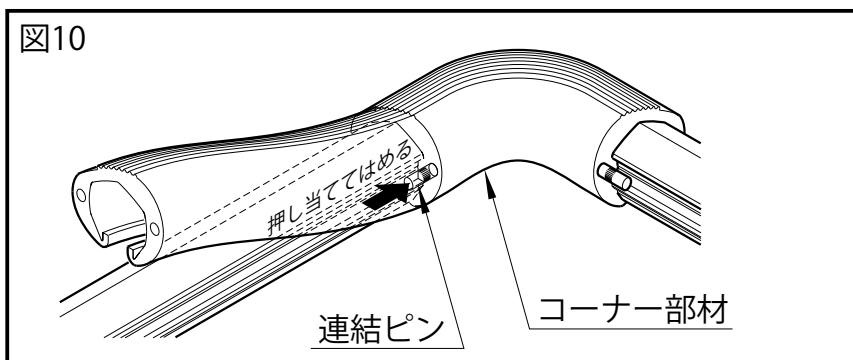
4-2 手すりカバーの取付手順

取付概要

- 1: 手すりカバーを取り付ける際、取り付け向きに注意してください。[図 9]
- 2: コーナー部材 (入隅コーナー / LR-500、出隅コーナー / LR-501) を使用している場合、コーナー部材に連結ピン (LR-710) を奥まで (約 6mm) 差し込んでください。
手すりカバー (LR-200) をコーナー部材の付いている側から連結ピンに差し込み、手すり芯材に押し当てるようにしてはめ込みます。[図 10]
- 3: コーナー部材を使用していない場合は、手すり芯材端部より手すりカバーをはめ込んでください。



注) 上記のいずれの場合も、エンドカバーを取付ける両端部は、手すりカバーが手すり芯材より 1 ~ 1.5mm 出っ張るようにはめ込んでください。[図 11]



■取付手順 (手すりカバーを楽に取り付けるために…)

手順1.

図のように、手すりカバー（ゴム：LR-200）端部をアルミ芯材の壁面側下端に引っ掛けます。

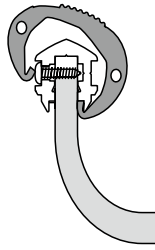


図12

手順2.

手すりカバーを図のようにねじります。

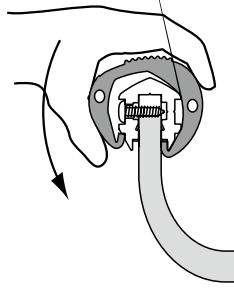


図13

手順3.

手すりカバーの反対側端部を、手すり芯材端部に引っ掛けます。

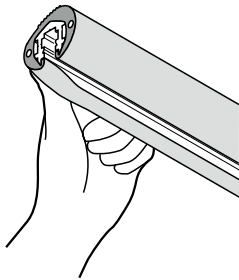


図14

手順4.

先端の曲がった千枚通しの様なものを手すりカバー（ゴム）と手すり芯材の間に刺し込み、手前に引きながら順送りに被せます。

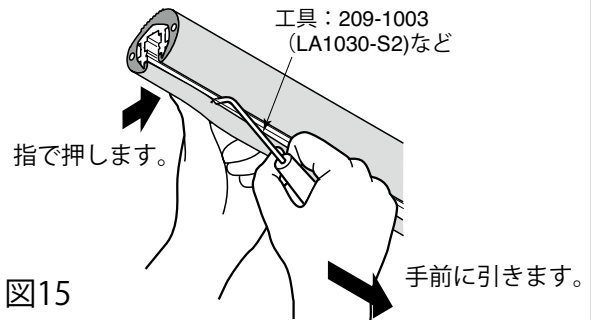
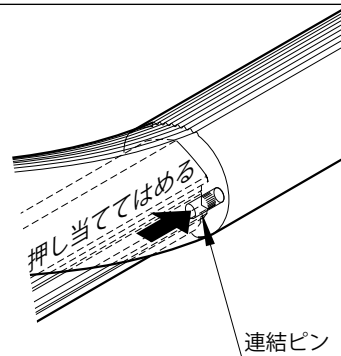


図15

4-3 手すりカバーの連結

手すりカバー同士を連結する場合、凍結ピン（LR-710）を均等にカバーの穴に差し込んで接続し、上記取付手順で手すり芯材に被せます。【図 16】

図16



5. エンドカバーの取付

エンドカバー（LR-600R/LR-600L）に連結ピン（LR-710）を差し込み、手すり芯材にはめ込みます。エンドカバー外側が手すり芯材にあたるまで、出っ張らせた手すりカバーを押し縮めながら差し込み、下部より六角穴付止ねじ M5×10 で締め付けます。【図 17】

6. 裏面カバーの取付

手すり下の溝部に、裏面カバー（LR-400）をブラケット内寸法で切断してはめ込んでください。【図 18】

図17

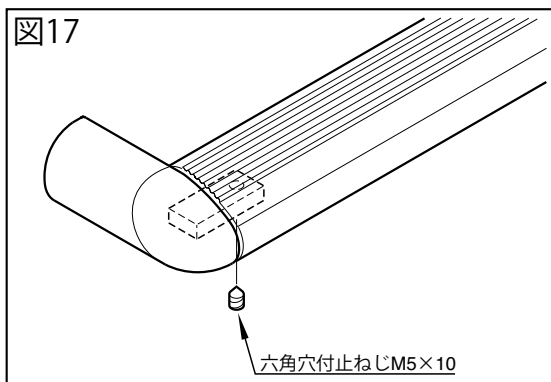
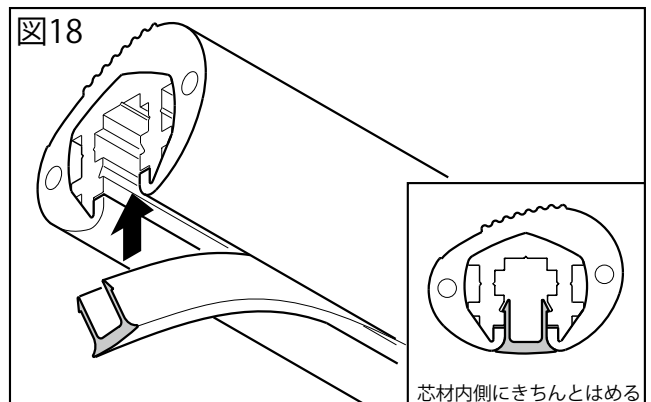


図18



7. 最終確認

最後に、手すりにガタつきやその他の不具合がないか良く確認をして、作業を終了してください。

8. 日常のメンテナンス

清掃は、しぼった雑巾で水拭きしてください。汚れのひどい場合には、うすめた中性洗剤を使用してください。シンナー、灯油等の溶剤は使用しないでください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

 **スガツネ工業**
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>